



▲旧四郷村役場（四郷郷土資料館）

四日市市は、「令和の大修理」のために令和3年7月から休館していた同市西日野町の旧四郷村役場（四郷郷土資料館）を、3月23日（土）にリニューアルオープンする。オープン後は、同建物を貴重な近代建造物として保存、活用し、市の近代産業発展の歴史や地域の民俗資料などを展示する。

＝関連②③④面

3月23日（土）リニューアルオープン!!

旧四郷村役場（四郷郷土資料館）

市指定文化財 旧四郷村役場 整備工事通信

第伍號

令和6年3月19日
(2024)
火曜日

旧四郷村役場は、地元の実業家、十世伊藤伝七により大正10年（1921）に村役場として建てられ、約40年前からは郷土資料館として利用されていた。築100年を機に、令和3年（2021）10月から5年（2023）3月まで、大規模な耐震補強・修理工事が行われ、工事後は、館内の整備に着手していた。

資料館は、かつての展示資料を生かしながら、新たな内容にリニューアルする。オープン後は、市から委託された地元の市民団体により、毎週土・日（年末年始は除く）、午前9時から4時に開館する。

旧四郷村役場 令和の大修理の経緯

平成 28 年度	旧四郷村役場耐震診断実施
平成 29 ～ 30 年度	「旧四郷出張所保存活用計画策定委員会」計 7 回開催 「四日市市指定有形文化財旧四日市市役所四郷出張所（四郷村役場）保存活用計画」及び「工事基本設計」作成
平成 31・ 令和元年度	旧四郷村役場PR事業（講演会・見学会・シンポジウム等）開催
令和 2 年度	「工事实施設計」作成
令和 3 年度	7 月以降資料館休館、「新展示基本計画」作成 8 月 大宗建設株式会社と工事契約、10 月 現場着工
令和 4 年度	ふるさと納税制度を活用する等寄付金募集（計 約 687 万円） 「新展示実施設計」作成 令和 5 年 3 月 竣工（工事費 3 億円余り）
令和 5 年度	リニューアル展示作業実施 旧四郷村役場 PR 事業（座談会・講演会等）実施
令和 6 年 3 月 23 日 リニューアルオープン	

発行 四日市市
シティプロモーション部文化課
〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号
☎ 059-354-8240
bunka@city.yokkaichi.mie.jp
HP [四日市の文化財](#) で検索

きょうの紙面

リニューアルオープン特集

3/23オープン	1
大修理の経緯	1
新展示紹介	2
魅力発信の軌跡	3

◇トピック 文化財地域計画	3
◇シリーズ 近代化遺産(2)	4

〔館内の展示配置イメージ〕

「旧四郷村役場魅力発信事業」の軌跡

令和3・4年度の旧四郷村役場耐震補強・修理工事、いわゆる「令和の大修理」を実施するにあたり、四日市市では、旧四郷村役場の魅力を市内外

に向けて発信する事業を、令和元年度から随時行っている。多額の工事費を要することは計画段階から予想され、工事に対する市民の理解が必要

不可欠と考え、旧四郷村役場の文化財的価値の発信に努めた。令和2～4年度はコロナ禍で、中止や人数制限など十分な活動が困難な時期であったが、インターネットを活用することで、情報発信の新たな広がりがみられた。

令和元年度(2019)					
5/26	第1弾	講演会	市総合会館	114人	
6/15ほか	第2弾	現地見学会 4回	旧四郷村役場	54人	
7/6	第3弾	シンポジウム	商工会議所	75人	
10/27	第4弾	四郷ふるさとの道ウォーキング	四郷地区	96人	
令和2年度(2020)					
8/1	第1弾	現地見学会	旧四郷村役場	2人	
10/21	第2弾	四郷ふるさとの道ウォーキング	四郷地区	50人	
		市制123周年記念企画イベント	旧四郷村役場	46人	
令和3年度(2021)					
4/3	第1弾	現地見学会(桜)	旧四郷村役場	9人	
5/30	第2弾	築100年記念式典(現地中止)	WEB開催	—	
9/23	第3弾	四郷ふるさとの道ウォーキング	四郷地区	中止	
3/20	第4弾	工事現場見学会①	旧四郷村役場	100人	
令和4年度(2022)					
8/28	第1弾	工事現場見学会②	旧四郷村役場	74人	
9/22～12/31	・	ふるさと納税制度活用プロジェクト	専用サイト	161人	
令和5年度(2023)					
5/27	第1弾	竣工記念座談会・見学会	旧四郷村役場	100人	
7/28	・	こども企画もよう探しゲーム	旧四郷村役場	18人	
10/21	第2弾	四郷ふるさとの道ウォーキング	四郷地区	115人	
2/2～4	・	東京日本橋 首都圏PR展示解説会	三重テラス	317人	
3/3	第3弾	リニューアルオープン直前講演会	市文化会館	160人	

トピック

「四日市市文化財保存活用地域計画」

昨年12月に、文化庁から認定された「四日市市文化財保存活用地域計画」をご存知でしょうか。本文163ページ、資料編28ページ、計191ページに及ぶ「大作」です。

「そんな本、とても読めない。」と、思うかもしれません。重くて持てそうにない、というご意見もあるでしょう。しかし、まずは『概要版』からでも手に取って、あるいはデータをダウンロードして(下の二次元コードより)、見てください。

始めから全部読もうと思わなくて構いません。目次を見て、興味を引かれたところから、例えば「第4章 四日市市の歴史文化の特徴」には、地区ごとにまとめた歴史文化が書かれ、そこから四日市市の歴史文化の特徴を導いています。ご自分がお住まいの地区から見ればすんなり入りやすいと思いますし、ぜひ四郷地区もご覧ください。

第6章には、文化財を保存、活用する取り組みを記載していますが、これは行政だけでなく、市民や専門家、民間団体など地域社会総ぐるみで取り組んでいこうというものです。身近にある文化財や歴史的なもののおもしろさや魅力を感じてみませんか。



▲工事現場見学会①



▲三重テラス展示解説会

No.4

末広橋梁 (旧四日市港駅鉄道橋)

所四日市市千歳町・末広町

(千歳運河上)

造鉄製プレートガーダー橋

築昭和6年(1931)

◆国指定重要文化財

平成10年(1998) 指定

築造以来の用途のまま現役で可動する鉄道橋としては、国内最古。設計者は、

可動橋の草分け、山本卯太郎である。

現在は、港へセメントを運ぶ貨物列車が一日5回程度通る。

鉄道と船舶がともに輸送の中心だった往時の姿を伝える。

シリーズ
四日市市の
近代化遺産

其の二

四日市市内に残る近代化遺産を紹介します。今回は、近代化を支えた輸送力の一つである鉄道関連を取り上げます。

No.3

四日市あすなろう鉄道 八王子線

所四日市市日永一丁目

西日野町

築大正元年(1912)



▲ドイツコッペル社製機関車

現在の八王子線は、起点と終点の2駅のみで、路線区間はわずか1.3kmである。元は、西日野駅からさらに西へ、伊勢八王子駅まで延びていたが、昭和49年(1974)の豪雨災害で、その区間が流されてしまった。

区間が短いだけでなく、線路幅が日本一狭いことが特徴である。当時、国が鉄道網を普及させるために、762mm

という狭軌の軽便鉄道の設置を勧めていたことが、今でも引き継がれている。

三重軌道(株)としてスタートし、ドイツ製蒸気機関車が四郷村の近代的な工場における輸出入品の輸送を支え、村の発展に大きく貢献した。令和の時代も、地域に欠かせない公共交通である。



▲なろうブルー

3/23 リニューアルオープン!

9:50 ~ 記念式典・テープカット
10:30 ~ 旧四郷村役場・資料館 公開
11:00 ~ 記念コンサート 於: 四郷小

3/23 ~ 3/31 旧四郷村役場ライトアップ
3/23 ~ あすなろう鉄道コラボ企画

1日乗車券提示で先着 300 名様にオリジナルグッズ進呈

◎旧四郷村役場(四郷郷土資料館)へは・・・

四日市あすなろう鉄道

あすなろう四日市駅より八王子線

終点「西日野駅」下車 徒歩 10 分(800m)

三交バス

近鉄四日市駅南乗り場より

高花平、小山田病院、宮妻口、椿大神社行き

「四郷小学校前」下車 徒歩 1 分

(四日市駅より 15 分)



開館: 毎週土・日(12/29 ~ 1/3 除く)

午前 9 時 ~ 午後 4 時

TEL: 059 - 321 - 9880

駐車場: 建物北側 10 台(大型車不可)

編集後記

ちよっと手を付けてしまってから約10年、これが一区切りではある。多くの方に助けられ支援を受け、欲をいえばキリがないが思いの外、よくできたようにおもつ。

旧四郷村役場には、この建物しか語ることのできる物語が詰まっている。資料館が再開して、これからがほんとうのスタート。地域、市民、行政みんな、この建物の次の100年の歴史が創られていくだろう。

(か)